ごみの減量に挑戦!!

混ぜればごみ、分ければ資源！

◆出来ることからはじめよう

ごみの減量化は、皆さんの小さな取組みが大きな結果となります。

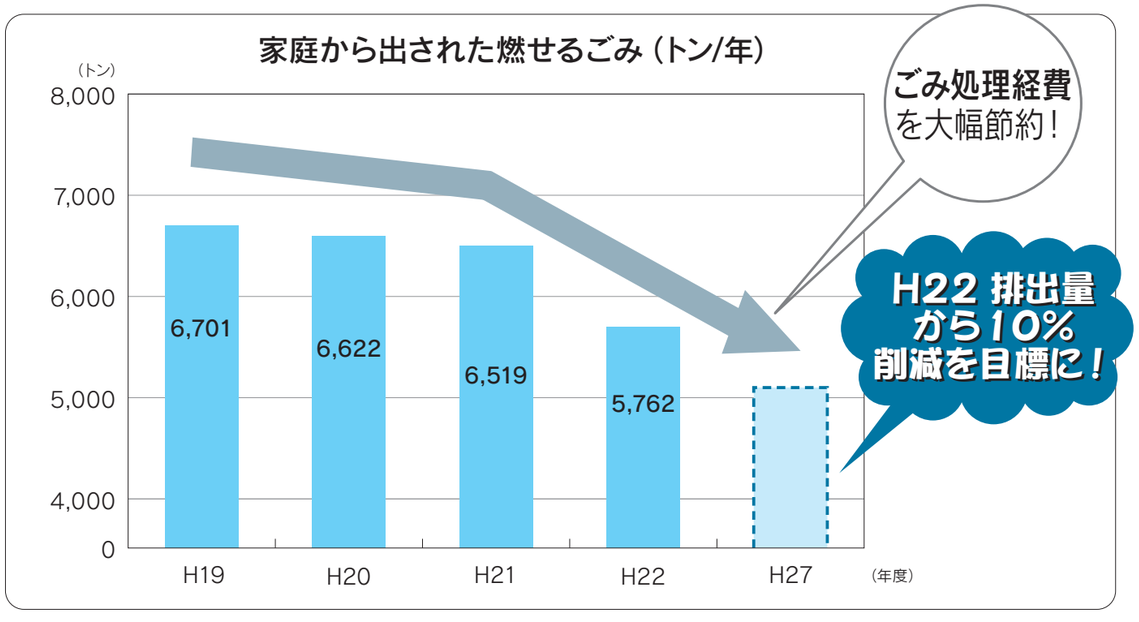
◆家庭ごみに着目

普段、皆さんが出す「家庭ごみ」は、年間約1万トンです。その約6割を占めるのが「燃せるごみ」です。

◆燃せるごみをダイエット

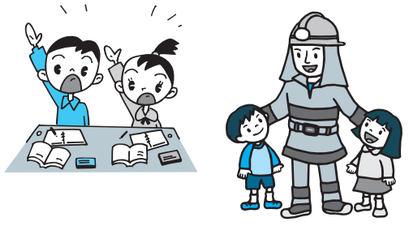
「燃せるごみ」には、様々な減量の方法があります。ごみ処理経費を減らすことで、その削減したお金を防災対策、福祉、教育などの他の分野に使うこともできます。

町の家庭から出されるごみの現状 ～燃せるごみ編～



削減により節約したお金で…

防災対策、福祉、教育を充実



10%削減するには…

年間に出されている「燃せるごみの量」	わたしたちが1人1日に出している量に直すと	10%削減するための削減目標は…
約6,000トン	約500グラム	1人1日当たり50グラム

50g＝卵1個

1人1日当たり50グラムのごみを減らしていきましょう！

家庭で出来る3つの減量化の方法

水切り

捨てる前に『ひとしぼり』

1日100シーシー（コップ約半分）の水切り

↓

年間約460トンの減量

どこまで断れるか…レジ袋

マイバッグを持参して、レジ袋をもらう枚数を半分に

↓

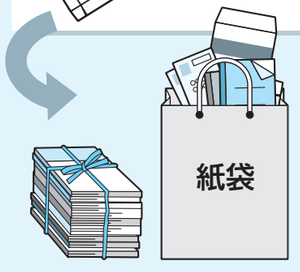
年間約50トンの減量

雑紙の分別

『雑紙（ざつがみ）』ってなに？

ティッシュペーパーの箱、お菓子の箱、トイレットペーパーの芯、はがきなど、名刺サイズより大きいものは雑紙です。雑紙は古紙としてリサイクルできます。できるものからコツコツ始めましょう。

集めやすいこの3種類から、始めてみよう！



Q．雑紙の収集日はいつ？
A．古紙の収集日に出してください。
Q．どうやって出すの？
A．ビニール類は取り除いて、雑誌などに挟むか、紙袋に入れて出してください。

他にもこんなことから…

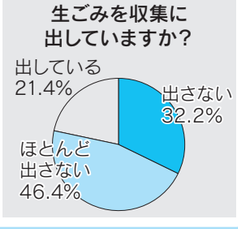
仲間を集めて集団回収

町では、資源（新聞、雑誌など）の集団回収を実施する団体に「資源回収協力交付金」を交付しています。

堆肥づくりでごみも減る！?

町ではコンポスターのあっせん販売を行っています。

購入者の約80%がごみの減量に成功。



◎問い合わせ　環境美化センター　☎(72)4438